



462号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



11月12日(水) 11:00~11:50

第2回検数労連14冬季一時金交渉

両協会基礎数字提示！組合は両協会に格差回答の廃止を求めると同時に、要求に沿った回答を求めた！

第2回交渉報告

11月12日(水) 日港福会館にて、第2回検数労連14冬季一時金交渉が開催され、両協会より14冬季一時金における基礎数字(対象人員・平均本給・平均年齢・平均勤続・35歳標準者賃金等)の提示がされました。

【組合主張】

組合は、両協会より提示された基礎数字を受け取り、あらためて組合員の期待に応えるべく、組合要求に沿った回答構築と、要求額を回答指定日に提示するよう両協会に主張を行った。

【年末年始特別例外荷役について】

11月12日(水) 全国港湾と日港協との間で開催された労使政策委員会、14年度の年末年始特別例外荷役について協議がされ、下記の事項で確認がされました。

組合は労使政策委員会での確認事項を受け、両協会に対し年末年始例外荷役に関する取扱いについて、次回交渉後より検数労連での確認を経て、各企業内交渉に移行する考え方を披瀝し、交渉の進め方については一定の労使確認がされた。

【交運共闘 中央行動】



11月13日(木) 安全・安心な国民本位の交通政策実現、交通運輸労働者の労働条件改善をめざす「11・13中央行動」が開催され、全国の組合員に協力を要請していた「交運共闘個人請願」(国土交通省…399名分・厚生労働省…407名分)を提出しました。

国土交通省前での請願行動では、交通運輸の仲間を代表して、石原副委員長が請願書を読み上げ請願書を提出。その後、タクシーやトラックの仲間も続いて請願書を提出しました。今回、ご協力いただいた組合員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

《年末年始例外荷役に関する労使政策委員会議事確認》

2014年(平成26年)12月31日から2015年(平成27年)1月4日(ただし、1月1日は除く)の間の例外荷役について下記の通り実施する。

記

1. 当該4日間の内、12月31日及び1月4日については、現行協定通り特別有給休暇とする。
2. 日中荷役とする。ただし、1月4日については取り切り船に限り原則18時までとする。
なお、詳細については必要な地区(港)労使で確認する。
3. 出勤者に対しては、割増賃金及び精励金を支給し、かつ代休を保障する。
4. 例外荷役は、本船作業及びその作業に係わる倉庫・物流倉庫に限定する。

以上

次回：検数労連14冬季一時金交渉 11月21日(金) 10時～
※有額回答に向けた考え方を求めています。